

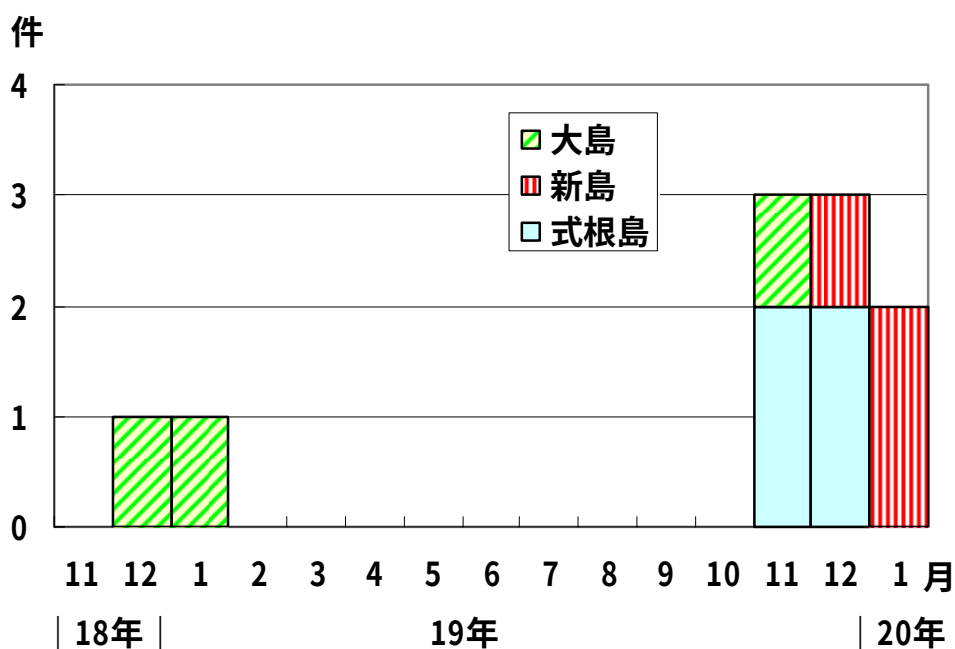
つつが虫病が流行しています！

今シーズン（平成 19 年～20 年）、つつが虫病の患者が既に 8 件届出られています。内訳は大島 1 件、新島 3 件、式根島 4 件です。昨シーズンの届出件数は（平成 18 年～19 年）2 件となっています。

日常生活において以下の点に注意して生活してください。

- 発熱、発疹、刺し口など、つつが虫病が疑われる症状が出ていないか観察しましょう。症状が疑われる場合は医療機関を受診しましょう。
- 山林・草むら・畑で作業をする際には、手袋、長袖、長ズボン、帽子、襟巻きなど身支度を整え、肌の露出を避けましょう。
- 山林・草むら・畑で作業をした後は、出きるだけ速やかに全身を払うか、入浴をしましょう。

グラフ 1：大島管内つつが虫報告月別届出症例数（平成 18 年 11 月～平成 20 年 1 月）



つつが虫病Q & A

Q1．つつが虫病はどのようにしてかかりますか？

A1．つつが虫病はつつが虫病リケッチアという病原体を保有するツツガムシと呼ばれるダニの幼虫に刺されることによりかかります。つつが虫病リケッチアに感染後 5～14 日で症状が出現します。ツツガムシは孵化して幼虫となった時期に 1 回だけヒトを含めた温血動物を刺します。伊豆諸島に主に存在するタテツツガムシは晩秋から冬季に孵化し、幼虫となって活動が活発化します。つまり 11 月から 3 月ぐらいまでが感染する危険性のある時期となります。

Q2．ツツガムシに刺されればつつが虫病にかかるのですか？

A2．つつが虫病リケッチアという病原体を保有するツツガムシに刺された時にのみつつが虫病にかかります。病原体を保有しないツツガムシに刺された時にはつつが虫病にはかかりません。

Q3．病原体を保有するツツガムシの割合はどの程度ですか？

A3．つつが虫病リケッチアという病原体を保有するツツガムシ（京都・新潟）の割合について 0.17%～18%という報告があります。また人と同じようにツツガムシに刺され感染を起こす野ネズミ（東京多摩地域）の抗体保有率についての調査報告によると 10.5%～28.6%でした。

Q4．つつが虫病にかかるとどのような症状が出ますか？

A4．発熱、発疹、全身倦怠感、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が出ます。ツツガムシと呼ばれるダニの幼虫に刺されるため、刺し口が認められることが特徴的です。重篤化すると播種性血管内凝固症候群が認められることがあります。

Q5．つつが虫病の治療はどのように行いますか？

A5．抗生物質（テトラサイクリン系）を主に使用します。治療が遅れると重症化する場合がありますので、つつが虫病が疑われる場合は医療機関を受診しましょう。

Q6．つつが虫病はどのように予防すれば良いですか？

A4．つつが虫病に感染する場所として、山林・草むら・畑などがあります。ツツガムシの活動が活発化する11月から3月ぐらいまでは、山林・草むら・畑での作業を控えることが一番の予防法となります。どうしても山林・草むら・畑で作業を行う場合は、手袋、長袖、長ズボン、帽子、襟巻きなど身支度を整え、ツツガムシに刺されないように肌の露出を避けましょう。また山林・草むら・畑で作業などをした後は、衣服にツツガムシが付着している可能性があります。出きるだけ速やかに全身を払うか、入浴をしましょう。